

「令和4年度いわて新農業人チャレンジファーム第23回研修を開催しました！」

第23回の研修は、令和4年12月16日(金)、17日(土)に、盛岡市勤労福祉会館で行いました。

講義は、農業簿記、経営所得安定対策等、研修の振返りについてでした。

農業簿記では、一般社団法人岩手県農業会議菅原主任主査から、単式簿記と複式簿記の違いや、貸借対照表と損益計算書の見方、首期から決算までの流れなどの農業簿記の基本について、テキストを使って学びました。

講義の最後には、「農業簿記を上手にを使って、皆さんの農業経営に役立ててほしい。」と、激励の言葉をかけていただきました。

受講生からは、「実際にやりながら習得し、経営に活かしたい。」「自分が注文している資材を管理したい。」などの感想がありました。

経営所得安定対策等では、ゲタ・ナラシ対策など認定農業者や認定新規就農者が活用でき

る制度のほか、農業共済や労災保険、収入保険といった兼業農家でも活用できる制度について、学びました。

受講生は、青色申告での特典や、収入保険に加入するには、青色申告の実績が1年分必要であることなど、青色申告に取り組む必要性等について、しっかりとメモを取っていました。

研修の振返りでは、これまでの講義で学んだことや実習のポイントなどを択一式で出題したものをを使って、一問ずつ解説しながら振返りました。

受講生からは、「間違いや不明な点が多かったので、研修資料を読み返したい!」との感想がありました。

第24回の研修は、令和5年1月13日(金)、14日(土)に、同会場で、研修報告発表会の予行演習を行う予定です。



講義「農業簿記について」の様子



講義「経営所得安定対策等について」の様子



板書して説明する菅原主任主査



講義「研修の振返りについて」の様子